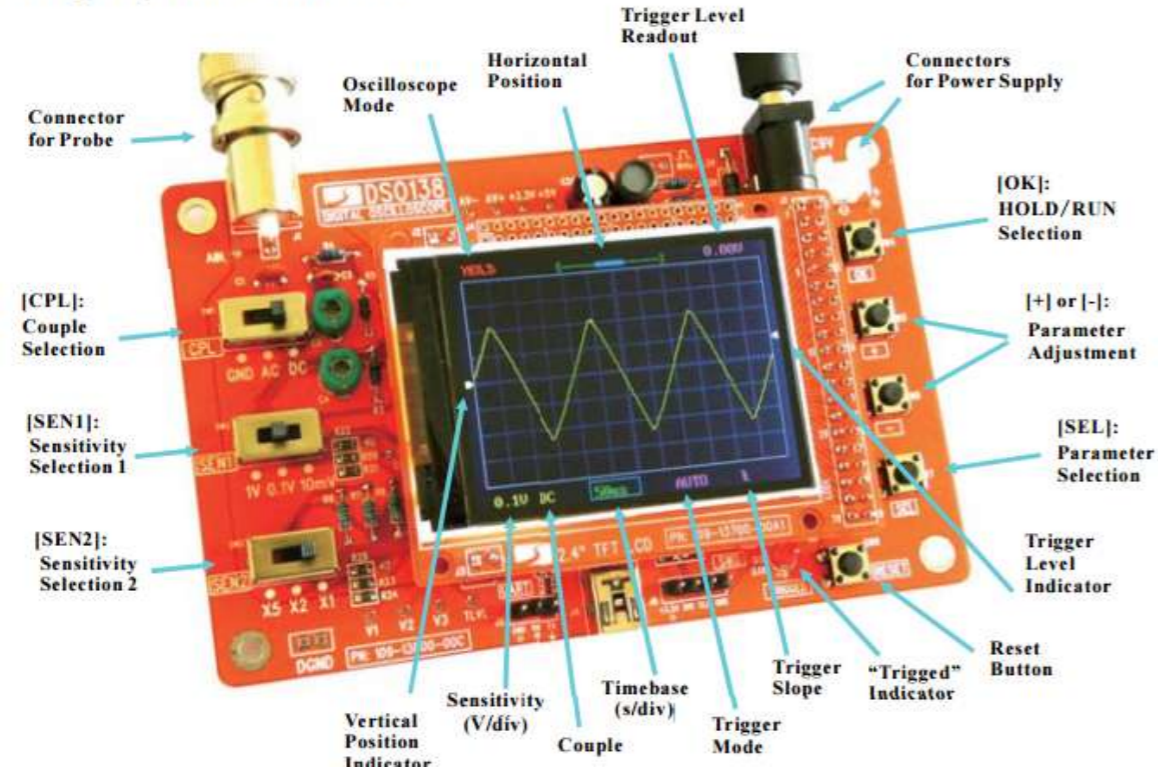


使い方

Display and Controls



接続

電源：J9 または J10 に DC 電源を接続します。電源電圧は 8~12V の範囲でなければなりません。
 プローブ：プローブを J1 に接続します。

注意

- 1 電源電圧は超えてはいけません。12V。さもなければ、U5 は熱くなるでしょう。
- 2 許容される最大信号入力電圧クリッププローブで 50Vpk (100Vpp) です。

オペレーション

[SEL] ボタンを押す：調整するパラメーターを選択します。選択したパラメータが強調表示されます。

[+] または [-] ボタンを押す：[SEL] ボタンで選択したパラメーターを調整します。

[OK] ボタンを押す：波形リフレッシュをフリーズします (ホールド状態に入ります)。もう一度押すと、フリーズします。

[CPL] スイッチを変更する：DC、AC、または GND にカップルを設定します。GND が選択されると、スコープ入力は入力から切り離されます (0V 入力) に接続されています。

[SEN1] または [SEN2] スイッチを変更する：感度を調整します。[SEN1] と [SEN2] の設定により、パネルの左下隅に表示される実際の感度。

[リセット] ボタンを押す：システムリセットを実行し、オシロスコープを再起動します。

0V ラインアライメント

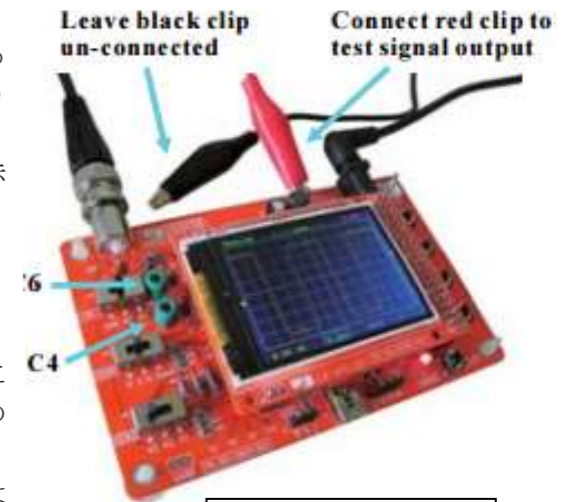
場合によっては、0V ライン (0V の入力電圧に対応するトレース) が VPOS と一致しないことがあります。画面左端のインジケータ。これは、0V ラインアライメント機能を実行することで簡単に修正できます。最初、カップルスイッチ [CPL] を GND の位置に設定します。次に [SEL] ボタンを押して、VPOS インジケータをハイにし、[OK] ボタンを約 2 秒間押し続けます。リリース時に VPOS インジケータに合わせてトレースを設定します

[OK] ボタン。最高の感度設定で残渣の mismatch が残ることがあります。これは正常です。

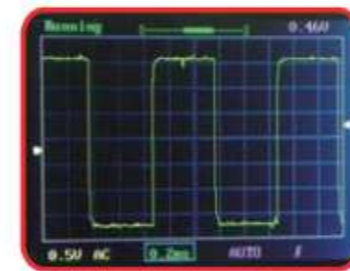
プローブキャリブレーション

スコープの入力とより良い測定を行うためには、グランドプローブを校正する必要があります。高周波信号の結果これは、組み込みテスト信号。これを行うには、以下の手順に従ってください。

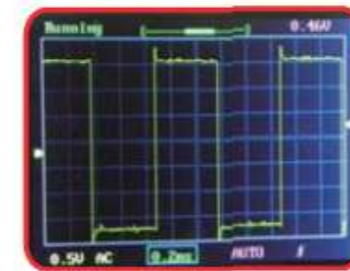
- 1 赤いクリップをテスト信号出力、黒いクリップを残す、接続されていない赤いクリップをテスト信号端子に接続し、黒いクリップは接続されていません (右の写真を参照)。
- 2 [SEN1] スイッチを 0.1V に、[SEN2] を X5 に切り換えます。[CPL] スイッチを AC または DC に設定します。
- 3 タイムベースを 0.2ms に調整します。波形が似ているはずですが、下の写真に表示されています。トレースが安定していない場合トリガレベル (右の画面の枠内にあるピンクの三角形) 安定した表示が得られます。
- 4 小さなスクロッドドライバーで C4 (コンデンサトリマー) を回して波形は急な直角を示します (写真 C)。
- 5 [SEN1] スイッチを 1V に設定し、[SEN2] を X1 に切り替えて他の設定は変更されません。シャープな直角波形が得られるように C6 を調整する表示されます。



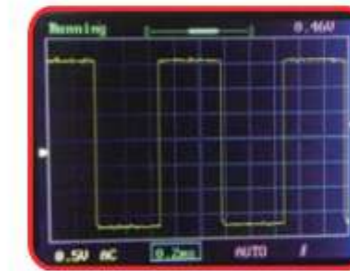
JARL 糸魚川クラブ
 製作講習会 2016.1.9
 英文和訳：JE0KBP



A - Not enough



B - Too much



C - Good

波形保存/呼び出し

[SEL] と [+] を同時に押すと、現在表示されている波形を不揮発性メモリに保存します。

トリガとそのモード

トリガは、信号電圧を示すイベントです。指定された方向に沿った設定レベル (すなわちトリガレベル) (すなわち、トリガスロープ、上昇または下降)。オシロスコープの使用波形を安定させるための時間基準点としてトリガする。表示と測定。自動モードでは、オシロスコープは表示リフレッシュを実行しません。問題のトリガーが発生するかどうか。トリガが検出されたときを参照して波形表示が表示されます。トリガポイント。それ以外の場合は、random 参照点。

オートモード

通常モードでは、オシロスコープは表示のみを行います。トリガーがあるときにリフレッシュします。トリガーが発生しない場合波形表示は変更されません。

ノーマルモード

シングルモードは、通常モードと同じですが、オシロスコープは、トリガが終了した後に HOLD 状態になります。検出され、波形表示が更新されました。

シングルモード

ノーマルモードとシングルモードは、スパースをキャプチャするのに便利です。または単一の波形。

選択 (s / div) (V / div) タイムベースが強調表示されるように [SEL] を押します。 [OK] ボタンを約 2 秒間押し続けます。これはオン/オフ測定値を表示します。 [SEL] と [-] を同時に押す：保存した波形を呼び出す